

日本人は花鳥風月に自分を映しながら、自然に対し感性を研ぎすまし豊かで繊細な文化を産み続けてきました。そのなかでも日本人なら誰もが知っている花、椿。江戸時代には空前の椿ブームでした。大名から諸民までがこぞって椿を愛で、粋という日本人特有の美意識を楽しみました。粋は意気から生まれ、いわゆる我慢と反骨精神に表されているように、気風と誇りが粋とされていました。



東日本大震災では、海外から震災後の日本人の気風と誇りをあ行動に賛美が寄せられるなかで、約七万本あった松のうちたった一本だけの松が奇跡のように残り復興のシンボルとされました。

この一本松と流された木を見たヴァイオリニスト中澤きみ子さんは、これは瓦礫ではなく、宝物だと言い、傍にいた弦楽器製作者中澤宗幸さんは、その木の中にヴァイオリンを見出しました。これが「TSUNAMI VIOLIN」木のいのちヴァイオリンが生まれる始まりになりました。



世界中のオーケストラや演奏家の  
楽器の調整も手掛ける  
弦楽器製作者  
中澤宗幸氏      ヴァイオリニスト  
中澤きみ子氏  
スーパーワールドオーケストラ全国  
ツアーにソリストとして共演



自然をこよなく愛する花人河村敦子さんは、花は野にあるよに「自然のまま、ありのままにいのちを輝かせる活け花」をされることで著名な花道家です。

このいのちのヴァイオリンの音色といのち輝く活け花。  
花は日本の風情を代表する椿。

日本人なら誰もが心の風情を感じて頂けることと思います。



花人倶楽部 花悠玄主催  
花人 河村敦子氏



さらに日々丹誠に育てている日本の第一人者である椿作家の佐藤晴美さんの椿が会うことになりました。

佐藤椿園園主 佐藤晴美氏  
「日本文化と椿」をテーマに活躍する椿作家

島国日本の凝縮でもある日間賀島の海際の高台に佇む日間賀観光ホテルにて奇跡のつながりが生み出す「日本人いのちの心の風情」を皆様とご一緒に心の中に響かせ、咲かせ、いのちの輝きに感動したいと思います。そして次への絆につながれば幸いです。春の訪れが聞こえる日間賀島で、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。